

# 育G新聞

Vol.7

イクジイが日本を元気にする。

毎月1回連載

育G新聞編集部 編集協力：

NPO法人 ファザーリング・ジャパン

NPO法人 孫育て・ニッポン

## 育G インフォメーション

11/30・12/1 ファザーリング  
全国フォーラム in とっとり

男の子育て、孫育てについて、「ファザーリング  
全国フォーラム」で、語り合ひましょう。

分科会8 地域で絆なイクジイが日本を変える

【日 程】12月1日(土)

【時 間】13時00分～15時00分

【コーディネーター】村上誠

(NPO法人ファザーリング・ジャパン理事)

【パネリスト】榎田明子

(NPO法人孫育て・ニッポン代表理事) ほか

【場 所】米子コンベンションセンターBIGSHIP

【対 象】子育て、孫育て、社会貢献に関心  
のある方

【申込み】[www.fathering.jp/zenkoku/](http://www.fathering.jp/zenkoku/)

### イクジイ宣言をしよう!

孫育て、地域の子どもたちと触れ合いなど社会  
貢献している男性の皆さん、イクジイ宣言  
しませんか?イクジイ宣言をすると、NPO  
法人ファザーリング・ジャパンのイクジイ  
プロジェクト認定の「イクジイ」として登録  
されます。

詳細 → [fathering.jp/ikujii/ikujii\\_entry](http://fathering.jp/ikujii/ikujii_entry)

# 育G発見

No.7

荒井木工所 建具職人  
荒井 保雄さん

自分が子育てをした町で、子どもや親、  
地域活動をサポートしている埼玉県とき  
がわの荒井保雄さん。地元の自然と地域  
の絆を最大限いかした荒井さんの活動の  
周りにはいつも笑顔が絶えない。

都心から約60分。自然豊かな埼玉県  
ときがわ町で、地元木材ヒノキ・スギなど  
を使った伝統の建具を作る荒井さんは、  
本業以外にいくつもの顔を持つ。週末、  
夏休みは木工体験工房の指導員、冬は  
天然スケートリンク作りをサポートする  
じい、祭りでは焼きそばなどの屋台で腕  
をふるう。「昔からのつながりが、ここ  
にはある。何かやろうとすれば、仲間が  
集まる。それがいいんでしょうね。」



木工体験工房は、建具職人が交代で  
体験工房に来た子どもたちの指導を  
する。夏休みは自由研究などの課題作り  
で、たくさんの子どもたちが来場。オリ  
ジナルの柵などを作りに、都心から来る  
人もいるという。

12月に入ると天然のスケートリンク  
作りが始まる。毎年クリスマス前後の  
オープンに向け、独自に開発した方法で  
天然スケートリンクを作るという。  
「1周120mのリンクに土からの熱を遮



1\_夏のリンク。2\_リンク  
入り口の看板。3\_木工  
房にびっしり並ぶ工具。

るために断熱シート敷くのですが、敷  
くのはもちろん運び込むのも大仕事。  
リンクに水を張るのは、消防が協力。  
となりを流れる都幾川の水をせき止め、  
ポンプ車でくみ上げるんです。上サ(かさ)  
スケート場は、1975年荒井さんたちが  
中心となり、村の子どもたちの冬の  
遊び場として作られた。当時設立した  
スケート少年団は現在も活動を続け、  
国体選手も創出している。

「自分たちが子どもの頃は、田んぼを  
凍らせてスケートをしていました。村の  
子どもたちはおやじたちが木工する作業  
を見ていましたらから、小刀一本でコマ  
を作ったり、地元の自然の中で遊び、  
育ちました。時代は変わりましたが、  
自然豊かなときがわの遊びや人とのつな  
がりを子どもたちにも繋いでいきたいで  
すね。」

——ときがわ町公式ホームページ——  
木工体験工房、上サスケート場などの  
情報は、「遊ぶ・体験する」をご覧ください。  
<http://www.town.tokigawa.lg.jp>

# 育Gの極意

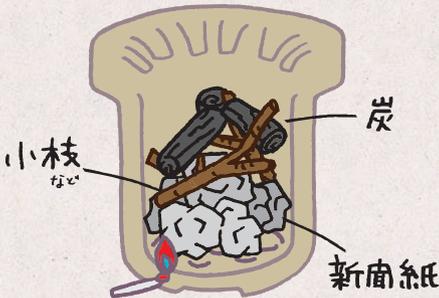


秋の味覚をBBQで堪能!

空が高くなり、気温も少し落ち着いたら、孫とバーベキューで秋の味覚をぜひ堪能してほしい。ジジの腕の見せ所は火おこしと食材選び。最近のパパやママは、炭に火をつけるのに着火剤などを使用する人が多いのだが、孫に小枝を拾わせ、ささっと火をつければジジの株が上がること間違いなし。断面が菊の花のように見えるクヌギ炭などを使うと風情がある。バーベキューは面倒というジジには、庭やベランダでの七輪がおすすすめ。その際には、煙が多く出るサンマなどは、控えるべし。

## 火のおこし方

1. 新聞を丸め長時間燃えるようにする
2. 拾ってきた小枝・まつぼっくりを新聞紙の上ののせる
3. その上に細めの炭を置く
4. 一番下の新聞に火をつける



**point** 空気が通るように隙間をつくる。大きめの炭は、細めの炭に火がついてから入れる。小さい子どもから目を離さずに、火の始末にはご用心を。

# 育G潮流

あなたは、孫に何と呼ばれたい?

週末のデパートで、5~6歳の女の子がニコニコしながら大きな声で「じいじ〜、こっちこっち!」と呼ぶ。その先には目尻が下がったじいじの姿。愛する孫娘との週末ショッピングを心待ちしていた様子がかがえる。

孫ができれば自分のことを、何と呼ばせるか。「じいじ」「じじ」「おじいちゃん」「オーパパ(大きいパパ)」「〇〇ちゃん」…。おじいちゃんという、日本昔話に登場するおじいさんが頭をよぎる。「自分はそこまで年をとっていない。おじいちゃんと呼ばせるのはやめよう。ニックネームがいいか……」。

前号でご紹介した『育G(イクジイ)調査』によると、祖父の呼称のトップは「じいじ」(37.0%)、4位の「じじ」と合わせると半数近くになり(46.5%)、2位の「おじいちゃん」

(23.1%)を大きく上回った。年齢別にみると、50代、60代のトップは「じいじ」(41.5%)70代は「おじいちゃん」(40.3%)と、じいじの年齢により呼称が変化している。「じいじ」の次には新しい呼称が登場するのか、それとも「じいじ」で落ち着くのか。これから孫を迎えるあなたは、孫に何と呼ばせませんか。

孫からの呼ばれ方



参考文献:『育G(イクジイ)調査』(電通)

# 育G Z Y I W

育GスタイリストG・ハヤシがアドバイス  
「孫にウケるバーベキュー」

この秋、孫といっしょにバーベキューでも、という育Gにおすすめの一品。それは「焼きマシュマロ」。マシュマロを串に刺し、軽く火にあぶってちょっと焦げ色がついたところで手早くクラッカー2枚でサンドする。あいだに板チョコをひとかけら入れると、技あり極上デザートのできあがり! ジイの株が上がること間違いなしです。

